

しんちゃんの森で歌おう

9月22日（水）酒田市宮海字新林国有林 1131 林班の「しんちゃんの森」で「しんちゃんの森で歌おう会」を実施しました。

夏の猛暑もようやく治まり秋雨前線が通過中のなか、当日は園児達の願いが届いたのか、今まで降っていた雨もあがり、くもり空で少し湿度のある喉によい天気恵まれました。

「しんちゃんの森で歌おう会」には年長組園児38名、年中組園児26名、保育園先生5名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、庄内森林管理署1名、庄内総合支庁2名、総勢76名の歌声がしんちゃんの森に響きました。

歌の指導者として、酒田市の日和山楽団でギター・ハーモニカを担当している、梅津勘一氏をお迎えして、「大きな歌」、「クロマツの歌」、「庄内米の歌」、の三曲に挑戦しました。梅津氏は、歌とギター・ハーモニカ演奏の一人で三役をこなして下さいました。

最初に発声練習を兼ねて「大きな歌」を参加者全員で歌いました。保育園の先生や園児の皆さんは、日々、歌を歌っているの伸びやかな高い声がしんちゃんの森に響きわたりました。

次に、「クロマツの歌」、「庄内米の歌」に挑戦しました。「クロマツの歌」は、日和山楽団でボーカルを担当している村上隆氏が2004年に秋田に単身赴任した際、秋田・庄内海岸林のクロマツ林を、毎週車から眺めながら作った曲で、庄内のクロマツ林保全活動のテーマソングとなっている歌です。年長組の園児達は、昨年度も歌っており、この会のために練習もしてきたようで3番までギターとハーモニカの演奏に合わせて透き通った高い声がしんちゃんの森に響きました。年中組の園児達は、初めてのこともあり、最初は、声も静かでしたが、次第に調子が上がり、大きな声で歌えるようになりました。ひらがなも読めない園児が多いのにこのように歌えるようになるのは、子供の特性とクロマツ林の中（自然の力）があるようです。

さらに、年長組の園児がステージに上がり、参加者全員で「クロマツの歌」を熱唱しました。参加者全員の声でしんちゃんの森で暮らしている鳥や動物はビックリして聞いていたかも知れません。歌の指導をして下さった、梅津勘一氏に西荒瀬保育園を代表して年長組のふなこしけんた君より花束の贈呈がありました。

最後に、梅津氏を囲むようにして、園児全員がステージに上がり、記念撮影を行い「しんちゃんの森で歌おう会」を終了しました。

[動画リンク](#) [クロマツの歌](#) [庄内米の歌](#)

